

## 資生堂、「SBT(Science Based Targets)」認定を取得



資生堂は、温室効果ガス削減目標について、SBT(Science Based Targets)イニシアティブ(SBTi)<sup>※</sup>より認定を取得しました。

当社は、環境課題への対応として、「地球環境の負荷軽減」「サステナブルな製品の開発」「サステナブルで責任ある調達の推進」の3つの戦略アクションを定め、全バリューチェーンを通じて、さまざまなステークホルダーと共に、環境負荷の軽減とサステナブルな資源の利用に向けた取り組みを推進しています。

「地球環境の負荷軽減」において、すべての工場における生産工程を見直し、高効率設備の導入によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギー利用など、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量削減の取り組みを行っています。特に再生可能エネルギーに関しては、国内外の自社工場や研究所の建物や敷地に太陽光発電設備の設置を促進しており、また国内工場では、水力発電由来の再生可能エネルギーも積極的に利用しています。

事業所での取り組みに加えて、「サステナブルな製品の開発」においても、「つめかえ・つけかえ」容器などCO<sub>2</sub>排出量の削減につながる商品のイノベーションなどを通じ、バリューチェーン全体で脱炭素社会の実現を加速させています。

資生堂は、企業ミッションである「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(ビューティーイノベーションでよりよい世界を)」のもと、「人々が幸福を実感できる」サステナブルな世界を実現するために、持続的に「美」を楽しめる地球環境への貢献を目指します。

※ SBTi (Science Based Targets initiative): パリ協定目標達成に向け、企業に対して科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出量削減目標を設定することを推進している国際的なイニシアティブ。環境情報の開示に関する国際 NGO である CDP、WWF(世界自然保護基金)、WRI(世界資源研究所)、UNGC(国連グローバル・コンパクト)による共同運営。

(参考)

サステナビリティレポート 2020: <https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/pdf/2020.pdf>